

玖珠町観光協会が主催した「ななつ星見学ツアー」に玖珠地区コミュニティの20名が3月7日、ウインドファームをはじめ数ヶ所を見学した後「ななつ星」の乗客の皆さんを歓迎しました。

クルーズトレイン・ななつ星 見学ツアーに参加しました

ウインドファームでは風力発電と太陽光パネルによる発電が行われており、原発が問題視されている今日、クリーンなエネルギーが求められている現状を見学させていただき大変参考になりました。

昼食は山浦地区の「名水茶屋」で平成の水百選に選ばれた「山浦妙見様湧水」で作っている「万年元氣豆腐」等の自然食を美味しくいただきました。いつか「ななつ星」のお客さんを「名水茶屋」にご案内したいと思えます。

午後は「栖鳳楼」、「清田コレクション」、「豊後森機関庫」等を見学して午後3時豊後森駅で「ななつ星」の乗客を歓迎しました。

「栖鳳楼」及び「豊後森機関庫」では森地区のボランティアアガイドさんが説明してくれましたので、次は「ななつ星」のお客さんに対して玖珠地区の「伐株山」や「亀都起古墳」「船岡神社」等を案内したいと思えます。



豊後森駅で乗客を歓迎する参加者

学校支援活動

塚脇小学校では、一年生の「昔の遊びをしよう」の単元で、地域の方たちの力をお借りしたいとの依頼があり、地域『教育力』支援事業を通して、支援をすることになった。

昨年続き二回目の依頼で、大体的様子は解っていたものの、子どもたちは初めてなのは当然で、こちらも初めてのつもりで一から準備を始めた。

『あやとり、おはじきと練習してきたよー』

普段から子どもたちを見守って下さっている方たちがいいのではという判断で、登下校の見守り隊の方、民生児童委員の方たち等にお声かけをし、快く引き受けていただいた。

最近、再ブームになっているけん玉を新しく取入れ、あやとりコーナー（麻生幸子支援員）、お手玉コーナー（中園ちづる支援員）、ビー玉コーナー（佐々木加寿巳支援員）、こま回しコーナー

（日隈孝海支援員）、おはじきコーナー（麻生富恵支援員）、けん玉（松永剛支援員）で分担し、打ち合わせや事前準備会もばっちりだった。

担当教諭は、子どもたちにけん玉やあやとり紐の準備等しつかり当日に向けて興味が高まる様に指導を重ねていただいたことが良くわかり、一緒に盛り上がりつつ楽しむことが出来た。

限られた時間の中で、思うように伝えられなかったことが悔やまれるが、子どもたちから、倍返しの元気をもらい、靴箱の靴がさち



あやとりを教える麻生幸子支援員（中央）



おはじきを教える
麻生富恵支援員（中央）

んと揃えられており、「お願いします！」「ありがとうございます！」の気持ちのいいあいさつに、塚脇小学校の佐藤校長他全ての教職員の温かい思いを感じた。

塚脇小学校は昨年からコミュニティースクールとしてスタートをした。「特に気負うことなく普段通りに地域と連携を取りながら進めたい」と佐藤校長は背筋を伸ばされた。しつかり冬囲いをされた春を待つプランターの花たちに、目線を落としながら、「又来年も来るよ。ありがとう！」と学校を後にした。

玖珠中学校区

協育コーディネーター

岩尾 純子